

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	演習
科 目 名	総合美容演習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	実習室
担 当 教 員	間柴靖裕	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
頭蓋骨の解剖学を理解し、小顔矯正ができるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
実技テスト						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリント、パワーポイント等						
《授業外における学習方法》						
学習内容の復習						
《履修に当たっての留意点》						
美容鍼灸だけでなく美容技術を身につけ、ぜひ将来にいかしてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	小顔矯正の分類を説明できる	プリント、スライド		
		各コマにおける授業予定	エステなどの小顔矯正との違い			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	頭蓋骨の解剖学の理解と手技の基礎が実践できる	プリント、スライド	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	頭蓋骨の解剖学(1)+実技			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	頭蓋骨の解剖学の理解と手技が実践できる	プリント、スライド	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	頭蓋骨の解剖学(2)+実技			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	頭蓋骨の解剖学の理解と手技が実践できる	プリント、スライド	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	頭蓋骨の解剖学(3)+実技			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	顔面部の解剖学の理解と手技が実践できる	プリント、スライド	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	顔面部の解剖学(1)+実技			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	顔面部の解剖学の理解と手技が実践できる	プリント、スライド	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	顔面部の解剖学(2)+実技		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	顔面部の解剖学の理解と手技が実践できる	プリント、スライド	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	顔面部の解剖学(3)+実技		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	頸部、肩の解剖学の理解と手技が実践できる	プリント、スライド	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	頸部～肩周囲の解剖学と実技		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの内容を実践できる	プリント、スライド	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	ペアを組んでの実技演習		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの内容を実践できる	プリント、スライド	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	ペアを組んでの実技演習		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの内容を実践できる	プリント、スライド	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	ペアを組んでの実技演習		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの内容を実践できる	プリント、スライド	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	ペアを組んでの実技演習		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの内容を実践できる	プリント、スライド	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	ペアを組んでの実技演習		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	小顔矯正の手技をマスターする	プリント、スライド	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	まとめ実技演習		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	小顔矯正の手技をマスターする	プリント、スライド	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	まとめ実技演習		